

連 系 線			連 系 設 備	発 電 設 備 の 種 別	逆 潮 流
変圧器柱：	線	号	逆変換装置(認証：④[No.MP-0183]・無)	・太陽光 ・風力 ・水力 ・燃料電池	・④ ・無
引込柱：	線	号	交流回転機(同期・誘導)	・	

申請者

	ガイドライン基準					申請内容			チェック結果		
	保護継電器					申請継電器			適・否	備考	
	種類	相数	単二	単三	三相	タイプ/No.	相数	制御CB			
構内事故対策用	逆潮流有	逆潮流無	単二	単三	三相						
	OCR-H		1	2	2	OC(2・3相)付 ELCB(有・無)				・過電流保護要素付漏電遮断器(OC付ELCB)が設置されていれば、OCR-H、OCGRは省略可	
	OCGR		1	1	1	OC(2・3相)付 ELCB(有・無)				・中線の過負荷のおそれが無い場合は、ELCB中性線のOCは省略可	
										・インバータ内蔵の場合は、個別に機能確認ができることを確認する	
電力系統事故対策用		DSR	1	2	(2) 3					・系統と協調が取れる場合は2相で可(DSRは同期発電機に必要)	
	(UVR)		(1)	(2)	(3)	27	ゲートブロック連系リレー解列			・発電設備等設置者発電機事故対策用のUVRと共用可	
	単独運転検出機能	受動的	方式							・交流回転機の連系時に必要	
発電機事故対策用	OVR		1	2	2	59	ゲートブロック連系リレー解列			・インバータ内蔵の場合は、個別に機能確認ができることを確認する	
	UVR		1	2	3	27	ゲートブロック連系リレー解列				
単独運転防止対策用	RPR		1	1	1					・交流発電機を連系する場合に必要	
	UPR		1	2	2						
	UFR	UFR	1	1	1	95L	ゲートブロック連系リレー解列				
	OFR		1	1	1	95H	ゲートブロック連系リレー解列				
	単独運転検出機能	受動的	電圧位相跳躍検出	方式				ゲートブロック連系リレー解列			
		能動的	ステップ注入付周波数フィードバック	方式				ゲートブロック連系リレー解列			
	逆充電検出機能	UPR	1	2	3					・逆潮流無しの場合における逆充電検出機能は、単独運転検出機能により代用可	
		UVR	1	2	2						
自立運転		・有・ 無			保護継電器ブロック図、制御電源回路図等による			機械的開閉装置 → 機械的 又は 手動開閉装置 →	・系統への逆充電および非同期投入防止機能を有すること		
屋外開閉器の設置					有 ・ 無						
PT CT	PT・CTの設置					単線結線図による					
FRT	事故時運転継続要件					適用 有 ・ 無					

	ガイドライン基準		申請内容		チェック結果	
	電力容量	原則：50kW未満	最大受電電力 (受給最大電力)	kW		
			契約電力 発電機出力			
電圧変動	常時電圧変動 101±6V以内	V(別途検討書による)	自動電圧調整装置	有 ・無		・風力発電設備の連系時、検討
	瞬時電圧変動 10%以内	9%(別途検討書による)				
	電圧フリッカ	別途検討書による				
短絡容量	他のお客さまの遮断容量を上回らないこと	別途検討書による			・一般的な低圧お客さま遮断機の遮断容量は1500A以上(交流回転機連系時、検討要)	
力 率	逆潮流有り：85%以上 逆潮流無し：95%以上 (進み力率でないこと)	95	%		・逆潮流の有る場合、電圧上昇抑制上やむを得ない場合は、80%まで可	
高 調 波	総合電流歪率5%以下 各次電流歪率3%以下	総合電流歪率 各次電流歪率	5 3	% %	・逆変換装置本体の高調波流出電流歪率(定格出力の低出力、中出力、高出力)をいい、メーカーの社内試験結果等でチェックする	
保護継電器 整定	電力側継電器と十分協調をはかること	別途整定一覧表による			・運転等に関する覚書を締結する	
保護継電器 ブロック図	制御電源：直流電源であること	別途継電器ブロック図、制御電源回路図による				
混触防止 対策	逆変換装置の交流出力側に変圧器又は直流検出器を設置する	直流分流出検出 検出レベル 240.0 mA 検出時限 0.5 秒				
運転・保守 運用の協 遮断装置 の インターロック	系統運用の協調をはかる 電力系統停止中および復電後一定時間の遮断器投入阻止	復電後の一定時間 (300 秒) は遮断器が投入されない			・復電後の一定時間とは、150～300秒とする	
・検討結果など						

ガイドライン基準		申請内容		チェック結果	
電力容量	原則：50kW未満	最大受電電力(受給最大電力)	kW		
		契約電力	kW		
		発電機出力	kW		
電圧変動	常時電圧変動 101±6V以内	V(別途検討書による)			
	瞬時電圧変動 10%以内	自動電圧調整装置 ④・無			
	電圧フリッカ	% (別途検討書による)			・風力発電設備の連系時、検討
短絡容量	他のお客さまの遮断容量を上回らないこと	別添検討書による			・一般的な低圧お客さま遮断機の遮断容量は1500A以上(交流回転機連系時、検討要)
力 率	逆潮流有り：85%以上 逆潮流無し：95%以上 (進み力率でないこと)	95 %			・逆潮流の有る場合、電圧上昇抑制上やむを得ない場合は、80%まで可
高 調 波	総合電流歪率5%以下 各次電流歪率3%以下	総合電流歪率 5 % 各次電流歪率 3 %			・逆変換装置本体の高調波流出電流歪率(定格出力の低出力、中出力、高出力)をいい、メーカーの社内試験結果等でチェックする
保護継電器整定	電力側継電器と十分協調をはかること	別添整定一覧表による			
保護継電器ブロック図	制御電源：直流電源であること	別添継電器ブロック図、制御電源回路図による			
混触防止対策	逆変換装置の交流出力側に変圧器又は直流検出器を設置する	直流分流出検出 検出レベル 240.0 mA 検出時間 0.5 秒			
運転・保守運用の協調	系統運用の協調をはかる	別添系統連系に係る覚書を締結します			・運転等に関する覚書を締結する
遮断装置のインターロック	電力系統停止中および復電後一定時間の遮断器投入阻止	復電後の一定時間(300 秒)は遮断器が投入されない			・復電後の一定時間とは、150～300秒とする
・検討結果など					